

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 29 年度期末）

1 取組実績の評価（１）：事業の実施状況の評価

評価項目

- (1) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (1-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
 - (1-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
 - (1-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況
 - (1-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
B	予定していた取り組みを実施できた。

2 取組実績の評価（２）：事業の実施体制等の評価

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の実施状況
 - (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
 - (2-2) フォロー（バックアップ）体制等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	区役所が求める業務を的確に行われたおり有効であった。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）に関する評価

評価	左記の理由
A	実施した取り組みは各地活協による地域カルテ作成の継続的な取り組みの開始に有効であった。 地域担当職員や地域の担い手の理解も深まり手法は有効であった。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）：目標等の達成状況の評価

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」の達成状況
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」の達成状況
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」の達成状況

(2-4)「Ⅳ 区独自取組」の達成状況

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
—	平成 29 年度からまちづくりセンター方式を改め、職員が行う地活協支援業務に対する外部スタッフによる補助・支援にかかる事業に委託内容を変更したため、取組効果の評価は、今年度の結果を初期のアウトカム（数値若しくは状態）として、来年度以降評価する。

5 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

(1) 総合評価Ⅰ

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	B	取組みを予定どおりに実施したことにより、各地活協において地域課題の把握・分析・整理が進んだ。
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	取組みを予定どおりに実施したことにより、地域課題の解決が進んだ地域がある。
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	取組みを予定どおりに実施したことにより、区職員のスキルが上がった。

(2) 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	B	今後も区の指示のものと的確に事務を遂行していただきたい。

（評価基準）

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない